

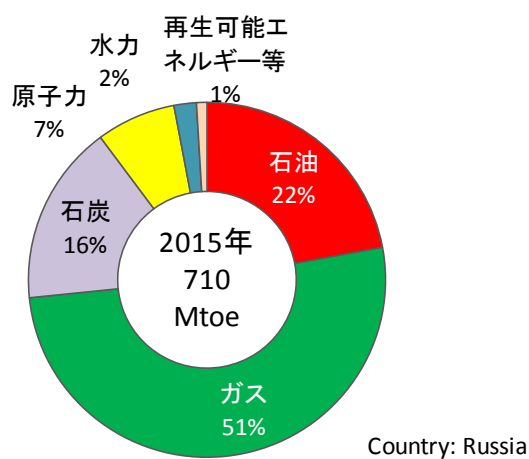
## 2-14 ロシア

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

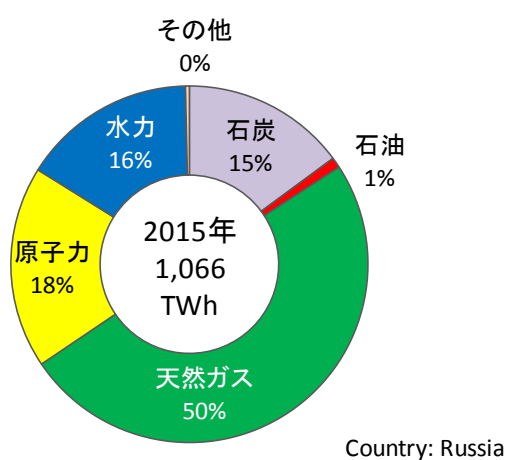
- (1) 一次エネルギー総供給量 (2015年) : 710 百万 toe (日本の 1.65 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2015年) : 4.93toe (日本の 1.45 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 188%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2015年) : 1,469.0 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 1.3 倍)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2015年) : 10.20CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 1.1 倍)
- (6) エネルギー別可採年数 (2016年末) : 原油 26.6 年、天然ガス 55.7 年、石炭 417 年

一次エネルギー供給構成 (2015年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2015年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー省が石油、ガス、石炭、電力（原子力を除く）産業を管轄する。地下資源の管理・入札等は天然資源・環境省の管轄。原子力分野は総合原子力企業「連邦原子力エネルギー公社（Rosatom）」の管轄下にある。

### (2) 基本政策

- 石油・ガス産業はロシア経済を支える主要産業であると共に主要財源である。また、石油・ガス・原子力をエネルギー外交展開上の重要手段として位置付けている。その一方で、エネルギー資源部門偏重型の経済構造を克服してロシア経済の高度化・エネルギー資源輸出先の多様化を目指す考えである。原油・天然ガスの輸出先について、欧州市場依存度の段階的引き下げ、アジア太平洋市場の開拓が長期的な課題である。

### (3) 最近の動向

- 2017年8月、米国で対ロシア制裁強化法が成立。米企業によるロシア企業への投資制限の他、ロシアの権益比率33%以上のエネルギー探鉱プロジェクトへの米企業の参加禁止、ロシアの探鉱活動投資・支援を行う外国企業の制裁対象への追加、さらにロシアのガス輸出パイプライン建設に関与している企業の制裁対象指定も可能となった。なお、米国大統領は議会承認なしに制裁解除できなくなった。他方、欧州委員会は2017年6月に制裁の6カ月間の再延長（2018年1月31日まで）を決定済み。
- 米国の対ロシア制裁強化法の対象となるガス輸出パイプラインには、独 Wintershall など欧州企業が融資している Nord Stream 2 も含まれるため、ドイツ等から EU 域内のエネルギー安全保障に影響が及ぶ可能性を懸念する声も出ている。
- 2017年9月、ExxonMobil と係争中の Sakhalin-1 プロジェクトの課税問題に関して、Medvedev 首相が同社との和解をロシア政府に指示したことが明らかになった。2015年に ExxonMobil は、「Sakhalin-1」プロジェクトの利潤税を35%から20%に引き下げ、超過支払い分（US\$6.37億）を払い戻すよう、ロシア政府を相手取り、Stockholm 仲裁裁判所で訴訟を起こしていた。和解内容の詳細は明らかにされていない。ロシアの利潤税は、「Sakhalin-1」PSA 締結時の35%から2009年に20%へと引下げられている。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2017年9月、安倍総理大臣と Putin 大統領は北方四島における共同経済活動に関し、早期に取り組むプロジェクトとして風力発電の導入を含む5件の候補を特定。今後、双方の立場を害さない法的枠組みを検討し、できるものから実施していくことで一致した。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Russian Federation

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		710 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		4.93 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.41 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		188 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		1,469.0 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		10.20 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	16 %
	石油	22 %
	天然ガス	51 %
	原子力	7 %
	水力	2 %
	再生可能エネルギー等	1 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-88 %
(9) 石油の輸入依存度		-242 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- % (輸入なし)
(11) 天然ガスの輸出先	第1位	ドイツ
	第2位	イタリア
	第3位	トルコ

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11) : Natural Gas Information 2017, IEA